



## 平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月5日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 8127 URL http://www.yamatointr.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 安栗 清 TEL 03-5493-5629  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年8月期第3四半期の連結業績（平成24年9月1日～平成25年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	18,361	1.8	1,103	△1.1	1,184	2.2	649	18.9
24年8月期第3四半期	18,032	5.1	1,116	△8.4	1,158	△6.2	545	△13.7

(注) 包括利益 25年8月期第3四半期 1,288百万円 (114.1%) 24年8月期第3四半期 602百万円 (△11.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	30.46	—
24年8月期第3四半期	25.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年8月期第3四半期	30,908	21,826	70.6	1,024.41
24年8月期	28,280	20,900	73.9	980.90

(参考) 自己資本 25年8月期第3四半期 21,826百万円 24年8月期 20,900百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年8月期	—	8.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年8月期の連結業績予想（平成24年9月1日～平成25年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	2.2	1,200	9.6	1,250	8.1	650	32.0	30.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年8月期3Q	22,502,936株	24年8月期	22,502,936株
② 期末自己株式数	25年8月期3Q	1,196,706株	24年8月期	1,195,793株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年8月期3Q	21,306,814株	24年8月期3Q	21,311,926株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策を背景に円安・株高が進行し、輸出環境や消費マインドが改善する等、景気回復への期待感が高まりました。しかしながら、欧州債務問題の長期化や中国経済の成長率鈍化等、不安定な海外経済による景気の下振れが懸念される中、依然として予断を許さない状況が続いております。

当業界におきましては、気温の変化とともに防寒物や春物は堅調に推移いたしました。近年の天候不順が消費者の購買心理に与える影響は大きく、先行き不透明な市場環境となっております。

このような経営環境の中、当社グループでは、基本方針である「時代に合った顧客が求めるカジュアルスタイルの提案」を念頭に、「先10年戦える“小売型アパレル”への転換」を新たな中長期目標として掲げ、全社における考え方・価値観を統一し、収益性・成長性・具体性が見込める事業の強化に注力してまいりました。

販売面では、「クロコダイル」の組織再編成により、直営店ビジネスの強化やメンズ・レディースの事業運営効率化に取り組んでまいりました。その中で、平成24年12月より販売を開始した新業態「クロコダイル トーキョー」では、表参道店に続き、直営店を銀座・吉祥寺にも出店する等、「クロコダイル」の新たな展開を進めております。また、国内販売20周年を迎えた「エーグル」につきましては、更なるブランド力向上を目指し、平成25年3月に渋谷本店をコンセプトショップとしてリニューアルオープンいたしました。新たな客層の取り込みに注力するとともに、ブランドの認知度向上に努めてまいります。

国内の自主管理型売場の店舗数は前期末より25店舗増加し、881店舗となりました。また、海外（中国）では2店舗増加し、3店舗となり、国内外の総店舗数は884店舗となっております。

経費面では、「ローコスト経営」のもと、業務の効率化を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が183億6千1百万円（前年同期比1.8%増）と増収になり、また利益面では売上総利益率は50.6%と0.6ポイント上昇いたしました。直営店出店・改装等への積極投資により、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は11億3百万円（前年同期比1.1%減）と微減となりました。しかしながら、経常利益は11億8千4百万円（前年同期比2.2%増）、四半期純利益は6億4千9百万円（前年同期比18.9%増）と増益になりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業182億1千9百万円（前年同期比2.0%増）、不動産賃貸事業1億4千2百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は162億3千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ22億8千1百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品の増加13億1千5百万円、受取手形及び売掛金の増加5億9千6百万円であり、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は89億8千9百万円から1億4千8百万円増加し91億3千8百万円となりました。

#### ②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は146億7千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億4千7百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の増加3億2千6百万円、差入保証金の増加7千2百万円、繰延税金資産の減少2億1千6百万円であり、

#### ③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は69億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ9億7千2百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加10億5千7百万円、未払法人税等の増加2億6千2百万円、一年内返済予定の長期借入金の減少5億3千2百万円であり、

#### ④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は21億6千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億2千9百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金の増加7億2千4百万円であり、

#### ⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は218億2千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ9億2千6百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加2億8千6百万円、その他有価証券評価差額金の増加4億9百万円、繰延ヘッジ損益の増加4千3百万円、為替換算調整勘定の増加1億8千7百万円であり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.9%から3.3ポイント低下し、70.6%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成24年10月12日発表の業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,750,777	3,799,303
受取手形及び売掛金	2,077,912	2,674,014
有価証券	5,239,185	5,339,046
商品及び製品	2,431,369	3,747,280
仕掛品	62,561	49,308
原材料及び貯蔵品	23,004	78,702
繰延税金資産	145,154	193,205
その他	221,287	351,703
貸倒引当金	△218	△278
流動資産合計	13,951,035	16,232,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,578,668	2,699,116
機械装置及び運搬具（純額）	33,092	41,323
土地	7,931,184	7,931,184
リース資産（純額）	11,901	24,967
その他（純額）	73,324	102,959
有形固定資産合計	10,628,171	10,799,551
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,859,977	2,186,753
差入保証金	1,320,451	1,392,640
繰延税金資産	286,992	70,571
その他	137,351	110,907
貸倒引当金	△42,266	△20,081
投資その他の資産合計	3,562,506	3,740,791
固定資産合計	14,329,415	14,676,593
資産合計	28,280,450	30,908,879

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,986,326	5,043,738
1年内返済予定の長期借入金	700,030	167,332
未払法人税等	98,636	360,894
賞与引当金	116,620	—
返品調整引当金	29,000	39,000
ポイント引当金	101,291	106,042
資産除去債務	1,985	719
その他	906,459	1,195,177
流動負債合計	5,940,349	6,912,904
固定負債		
長期借入金	600,000	1,324,168
退職給付引当金	504,214	490,018
資産除去債務	136,321	147,348
その他	199,319	208,035
固定負債合計	1,439,854	2,169,569
負債合計	7,380,203	9,082,474
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	5,644,906	5,644,906
利益剰余金	11,059,071	11,345,891
自己株式	△654,500	△654,877
株主資本合計	20,967,129	21,253,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△68,856	340,653
繰延ヘッジ損益	△6,332	36,862
為替換算調整勘定	8,305	195,315
その他の包括利益累計額合計	△66,883	572,831
純資産合計	20,900,246	21,826,404
負債純資産合計	28,280,450	30,908,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	18,032,806	18,361,383
売上原価	9,010,574	9,057,616
売上総利益	9,022,232	9,303,767
返品調整引当金戻入額	32,000	29,000
返品調整引当金繰入額	40,000	39,000
差引売上総利益	9,014,232	9,293,767
販売費及び一般管理費	7,898,068	8,189,993
営業利益	1,116,164	1,103,773
営業外収益		
受取利息	16,787	23,263
受取配当金	17,514	18,559
受取補償金	16,600	11,985
その他	18,438	44,384
営業外収益合計	69,341	98,192
営業外費用		
支払利息	18,823	16,861
賃借契約解約損	4,770	—
為替差損	2,325	—
その他	943	658
営業外費用合計	26,863	17,519
経常利益	1,158,642	1,184,446
特別利益		
投資有価証券売却益	—	9,774
特別利益合計	—	9,774
特別損失		
固定資産除却損	17,457	49,670
減損損失	8,114	24,998
投資有価証券評価損	122,211	—
特別損失合計	147,783	74,669
税金等調整前四半期純利益	1,010,858	1,119,551
法人税、住民税及び事業税	464,425	540,307
法人税等調整額	436	△69,794
法人税等合計	464,862	470,512
少数株主損益調整前四半期純利益	545,996	649,038
少数株主利益	—	—
四半期純利益	545,996	649,038



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	545,996	649,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,215	409,509
繰延ヘッジ損益	14,824	43,194
為替換算調整勘定	21,022	187,010
その他の包括利益合計	56,062	639,714
四半期包括利益	602,059	1,288,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	602,059	1,288,753
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,863,142	169,664	18,032,806	—	18,032,806
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,863,142	169,664	18,032,806	—	18,032,806
セグメント利益	1,531,757	58,948	1,590,706	△474,541	1,116,164

(注) 1. セグメント利益の調整額△474,541千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,219,131	142,252	18,361,383	—	18,361,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,219,131	142,252	18,361,383	—	18,361,383
セグメント利益	1,552,716	40,137	1,592,854	△489,081	1,103,773

(注) 1. セグメント利益の調整額△489,081千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。